

中山間地の集落復興における住民の参加

関 嘉寛¹・渥美公秀²

¹大阪大学コミュニケーションデザイン・センター（〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸 1-1）
E-mail: seki@hus.osaka-u.ac.jp

²大阪大学コミュニケーションデザイン・センター（〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸 1-1）

人口が少なく、住民構成も限られている中山間地の集落復興における住民参加は必須である。集落復興はその地に残る限り、彼ら自身生活環境を決定的に左右するものであるからだ。しかし、その手法としてよく用いられるワークショップはもともと農山村でおこなわれてきたものではある。しかし、近年それが都市計画など都市でのまちづくりツールとなったため、中山間地に「逆輸入」される時にはさまざまに注意すべき点があることが分かってきた。新潟県小千谷市塩谷集落での事例からそれを明らかにしていきたい。

キーワード：集落復興，住民参加，ワークショップ